

経営比較分析表（令和5年度決算）

愛知県 南知多町

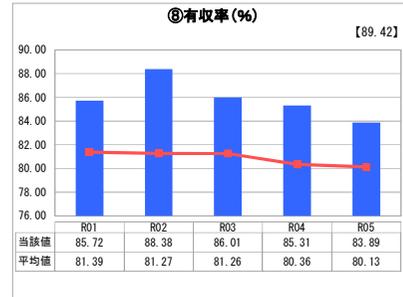
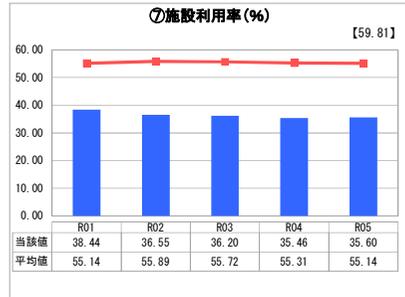
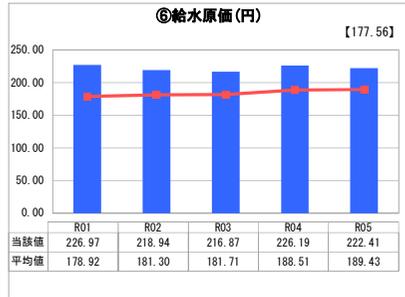
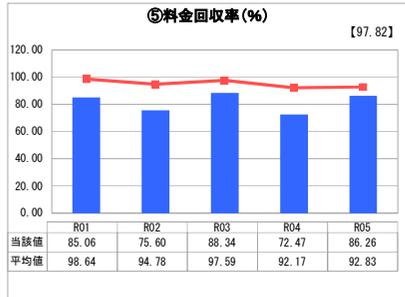
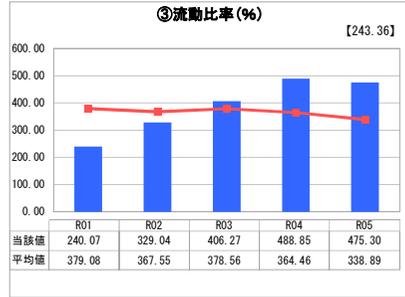
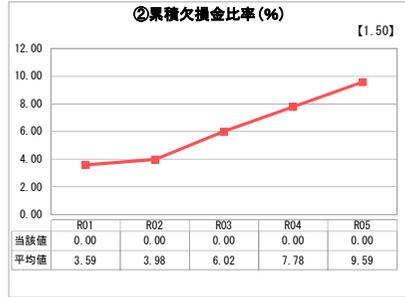
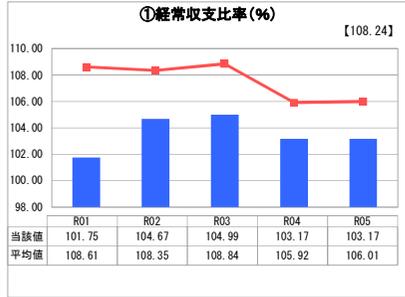
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	77.29	100.00	2,954	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,017	38.23	418.96
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
15,962	40.10	398.05

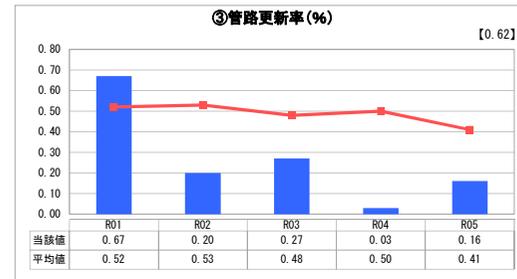
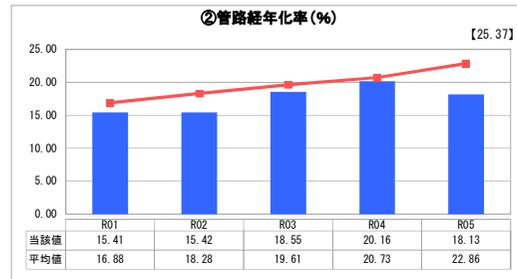
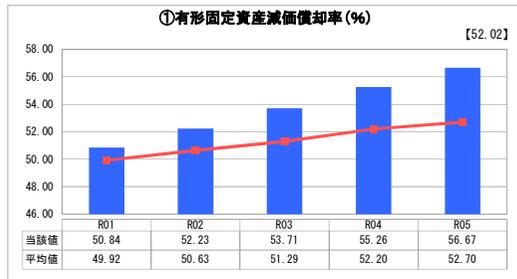
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す①経常収支比率は、給水人口等の減少に伴い、経常収益は減少したが、受水費の見直し等により経常費用についても減少したため、前年度と同ポイントの103.17%となり、健全経営の水準とされる100%を上回っている。また、料金水準の妥当性を示す⑤料金回収率は、前年度比13.79ポイント増の86.26%となったが、これは昨年度に実施した新型コロナウイルス感染症対策の一環として水道料金の内、基本料金を6か月間減免にする施策を今年度は実施しなかったことにより、給水収益が増加したためである。さらに、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響による観光客の減少や海況の変化等による漁業活動等の低迷があったため、以前のような活気はない。そのため、年間総有収水量は減少しており、今後も現状の経常収支を維持するため、より一層の費用の削減に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は前年度比1.41ポイント増の56.67%、法定耐用年数を経過した管路延長の割合を示す②管路経年化率は前年度比2.03ポイント減の18.13%、当該年度に更新した管路延長の割合を示す③管路更新率は前年度比0.13ポイント増の0.16%とわずかずではあるが更新が進んでいる。今後も、将来の更新需要に備え、引き続き計画的な施設更新を実施する必要がある。

全体総括

当町は人口減少が著しい。そのため、給水人口の減少は避けることができない。さらに、大口使用者である各産業の事業所の使用水量と料金収入の減少が続いているため、収益に大きく影響し、経営の健全性の指標数値の低下を招いている。このため、受水費の見直し等を始め、より一層の費用削減に取り組まなければならない。令和2年度策定の「南知多町水道事業基本計画」に基づき【安全（いつでも安心）】【強靱（災害に持ちこたえる）】【持続（健全な経営を未来へつなぐ）】を施策目標に掲げ、今後も安定した事業の経営を図る。また、経営戦略については、上記基本計画に位置付けられており、令和7年度に改定を予定しているため、経営改善の見直しを図る。さらに、近隣5市4町の施策に注視し、有益な取組があれば検討する。